

(別冊資料) 資産運用の高度化に向けた取組みのご報告

2024年1月19日

- 2023年12月、政府より「資産運用立国実現プラン」が公表されました。同プランでは、家計からの投資の運用を担い、リターンを生み出す資産運用会社の高度化を図るとともに、企業への成長資金の供給を促し、その成果を家計に還元することで、インベストメント・チェーンを通じた「成長と分配の好循環」を推進するための施策が提言されており、大手金融機関グループに対して「グループ内での資産運用ビジネスの位置づけ」のほか、「運用力向上やガバナンス改善・体制強化のためのプラン」の策定・公表が求められています。
- 当社は、こうした「資産運用立国実現プラン」の趣旨に全面的に賛同しており、今般、当社における資産運用の取組みをご紹介します。
- 当社では、資産運用を成長戦略の一つと位置づけ、資産運用の高度化・多様化、責任投資の推進、専門人財の育成等に取り組むなど、「お客さまの中長期的な資産形成」と「持続可能な社会づくり」に資する資産運用に努めています。
- 今後も、責任ある機関投資家として、資産運用力の向上に不断に取り組み、お客さまの期待に応えていきます。

I. 当社における資産運用ビジネスの経営戦略上の位置づけ

確かな安心を、いつまでも

明治安田グループとして

「お客さまの中長期的な資産形成」と「持続可能な社会づくり」に貢献

明治安田生命

利率保証型商品の提供
(貯蓄性保険商品・団体年金)

生命保険会社として
安定的な資産形成に貢献
(責任投資の高度化を含む)

明治安田アセットマネジメント

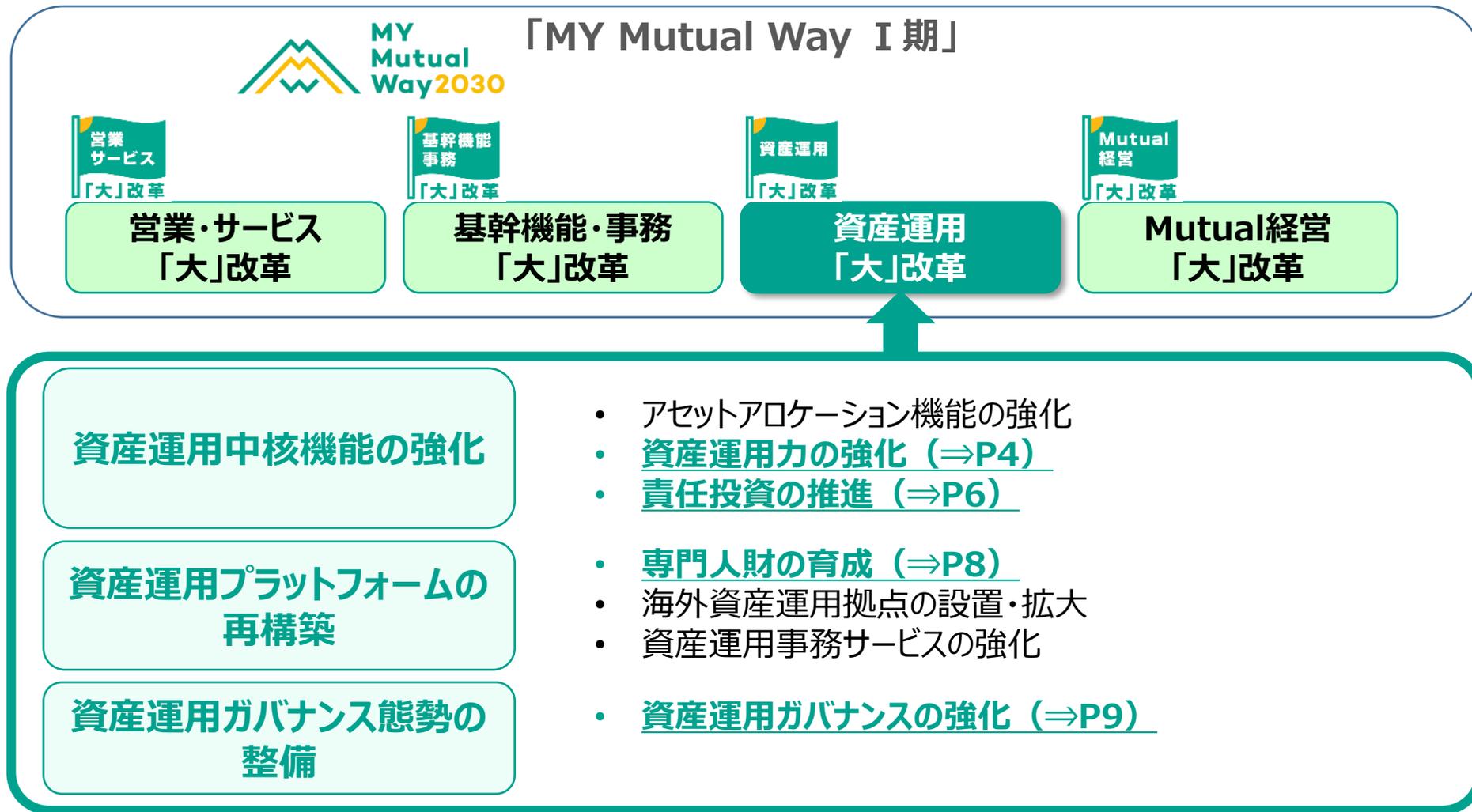
実績配当型商品の提供
(投資信託・団体年金)

資産運用会社として
高度な専門性を発揮
(責任投資の高度化を含む)

人財交流・運用手法の共同研究等
によるグループシナジーの発揮

- お客さまの資産形成ニーズに合わせ、利率保証型商品・実績配当型商品を提供し、「お客さまの中長期的な資産形成」と「持続可能な社会づくり」に貢献しています
- 明治安田生命と明治安田アセットマネジメントの間では、人財交流や運用手法の共同研究等を通じてグループシナジーの発揮に努めています

I. 当社における資産運用ビジネスの経営戦略上の位置づけ



- 3カ年プログラム「MY Mutual Way I期」(2021~2023年度)では、資産運用を成長戦略の一つと位置づけ、資産運用の高度化・多様化、責任投資の推進、専門人財の育成等に取り組んでいます

II. 資産運用力の強化

資産運用の高度化・多様化

【金融環境に応じた機動的運用】



【新規投資手法の研究・開発】



【海外投融資の拡大】



【スタートアップ企業への投資】 （明治安田未来共創ファンド）

①人々の健康の維持・増進

②地域社会の活性化

③新たな体験を生み出す技術の革新

3つの領域で事業を展開する有力なスタートアップ企業に投資

- 金融環境の変動に応じた機動的な運用や、プライベートアセット（次期中計3カ年で約6,000億円の投資を計画）を含む海外投融資の拡大、新規運用手法の研究・開発など、自社における資産運用の高度化・多様化に努めています
- また、この一環としてスタートアップ企業を対象とした投融資にも取り組んでいます。一例として2023年2月に先進的な発想・技術を持つ企業との協業を視野に入れた「明治安田未来共創ファンド」を創設し、新しい企業の成長を支援しています

II. 資産運用力の強化

新興運用業者の活用

【外部委託の考え方】

自社運用の補完として以下を行なう会社に委託

- ① 特定の領域で高い専門性を活かした運用
- ② 当社の資産運用高度化（※）に資する運用

※委託運用を通じたノウハウの習得等



【新興運用業者への投資例】

SDG
Impact Japan
➤

サステナビリティ領域全般に高度な知見。同社によるESGエンゲージメント（企業との対話）を通じた企業価値向上を目指すファンドに投資（2022年4月）

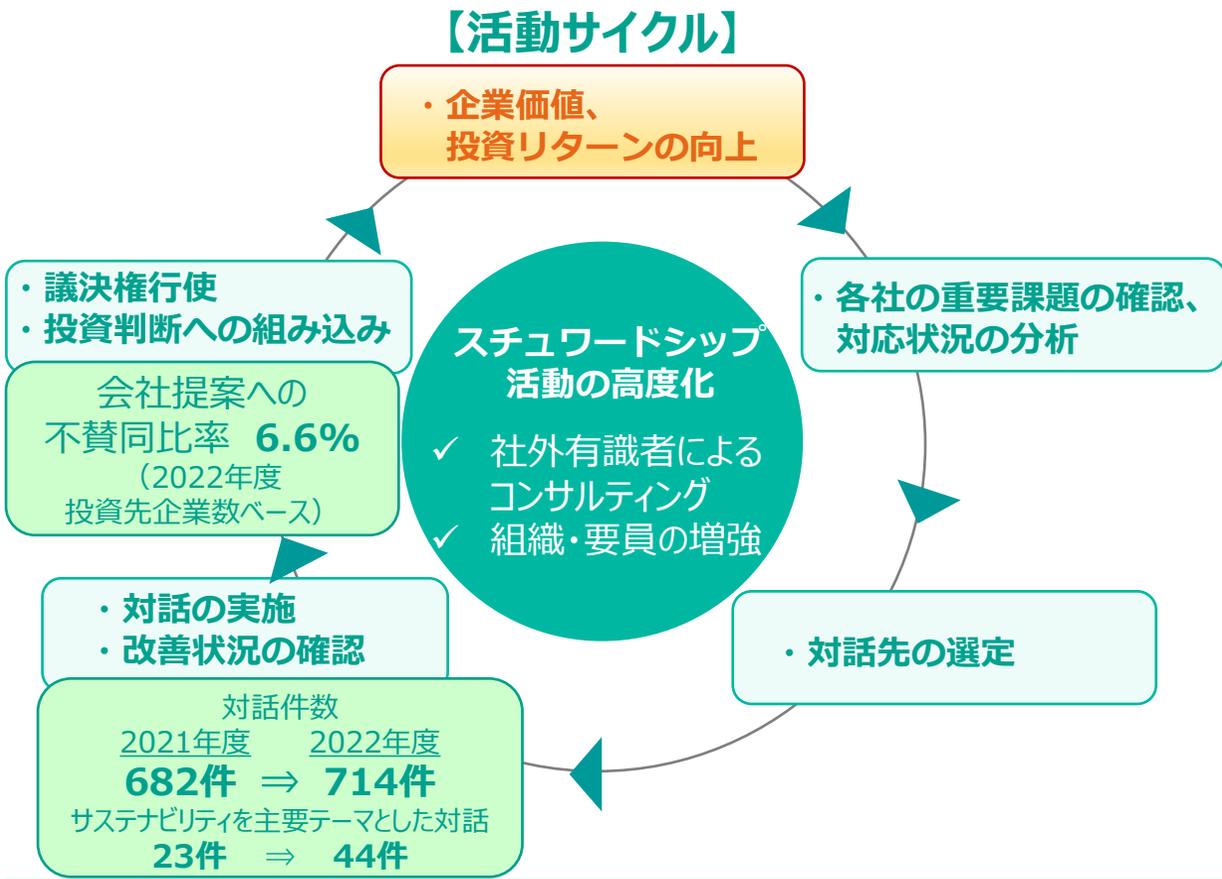
TORANOMON
IMPACT CAPITAL LLC

東京都が推進する「ソーシャルインパクト投資ファンド」活動の運営事業者。同社が運営するウェルネス領域でのスタートアップ企業支援を行なうファンドに投資（2023年3月）

- 自社での運用を基本としつつ、その補完として、専門性の高い運用や、当社の資産運用高度化に資する運用を行なう運用会社に資産の一部を委託しています。運用資産の原資はお客さまからお預かりした保険料であることから、委託にあたっては十分な事前確認および投資後のモニタリングを実施しています
- 委託にあたっては過去の実績のみにフォーカスするのではなく、外部委託の考え方に照らして適切かどうかを重視しています。これまで新興運用業者を含め委託を行なっており、今後も幅広い視点で運用会社を選定していきます

Ⅲ. 責任投資の推進

スチュワードシップ活動の強化



【協働エンゲージメント】

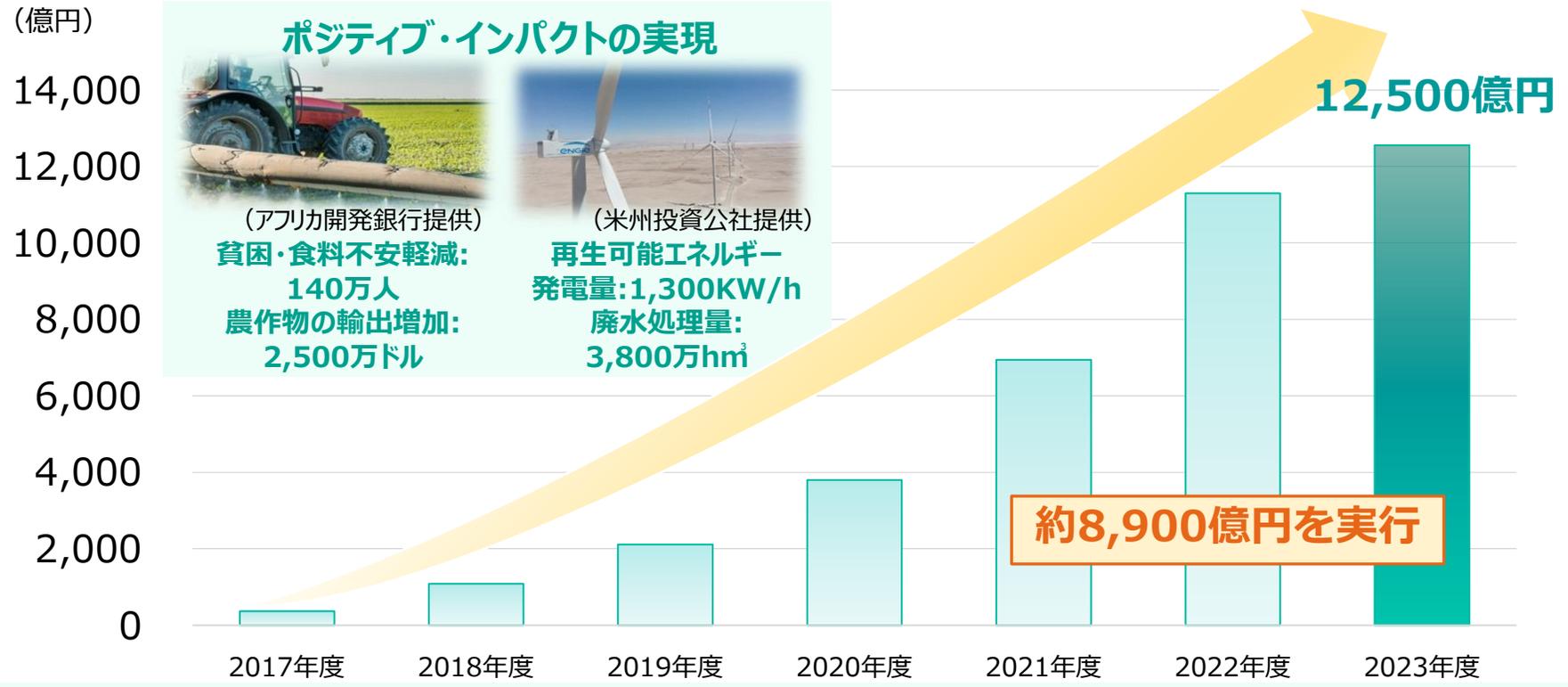


- ・ スチュワードシップ活動の高度化に向け、2020年4月に責任投資推進室を設置し態勢を強化したほか、社外有識者等のコンサルティングを受け対応力強化を図っています
- ・ 個社での取組みに加え、生命保険協会設置のスチュワードシップ活動ワーキング・グループ参加各社とともに、企業に対して課題意識を伝え改善を促す「協働エンゲージメント」に取り組んでいます

III. 責任投資の推進

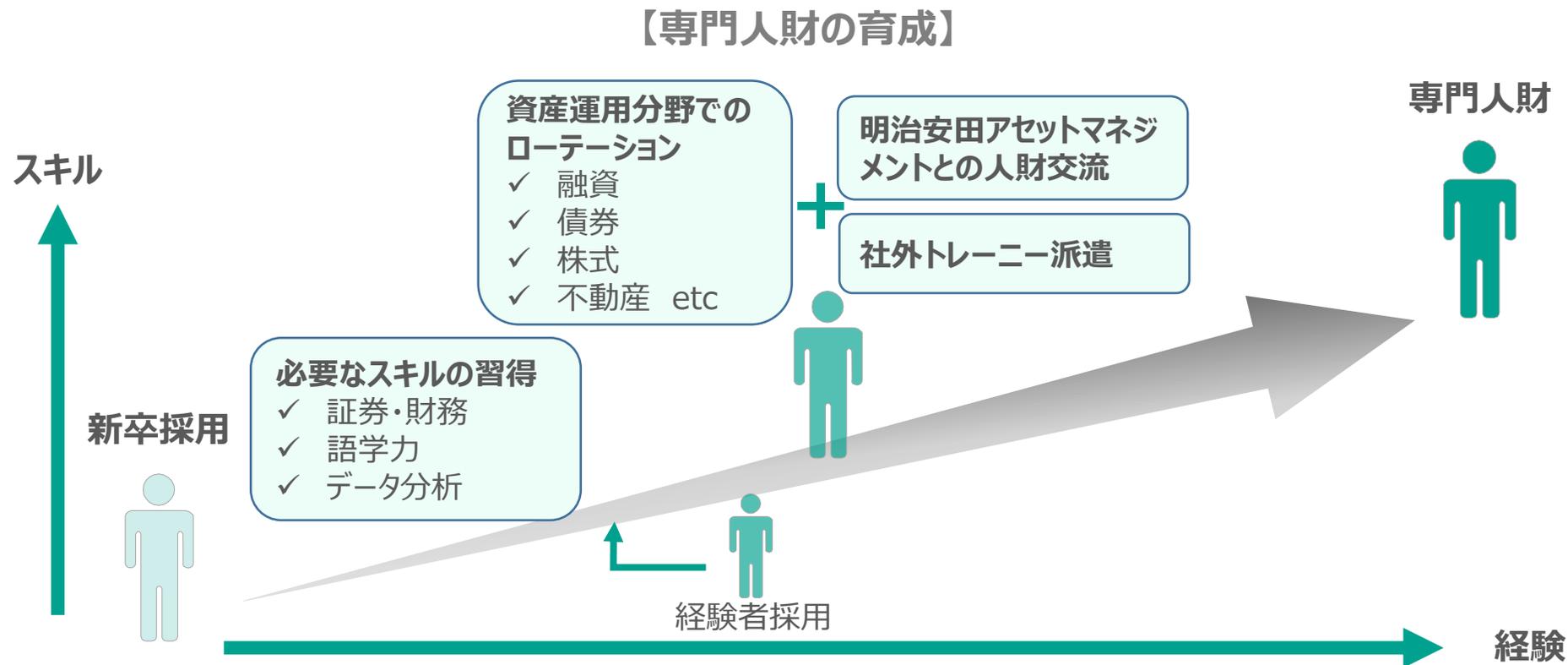
ESG投融資の推進

【ESG投融資残高】



- 収益性に留意しつつ、ESG（環境・社会・ガバナンス）投融資を推進しています。現中期経営計画期間（2021～2023年度）における目標額8,000億円以上に対して、累積投資実績は2023年9月末時点で約8,900億円となり、投資残高は約1兆2,500億円まで増加しています
- 環境・社会・経済の課題解決へ取り組むプロジェクトへの資金供給であるインパクト・ファイナンスにも力を入れており、世界各地の課題解決に貢献しています

IV. 専門人財の育成



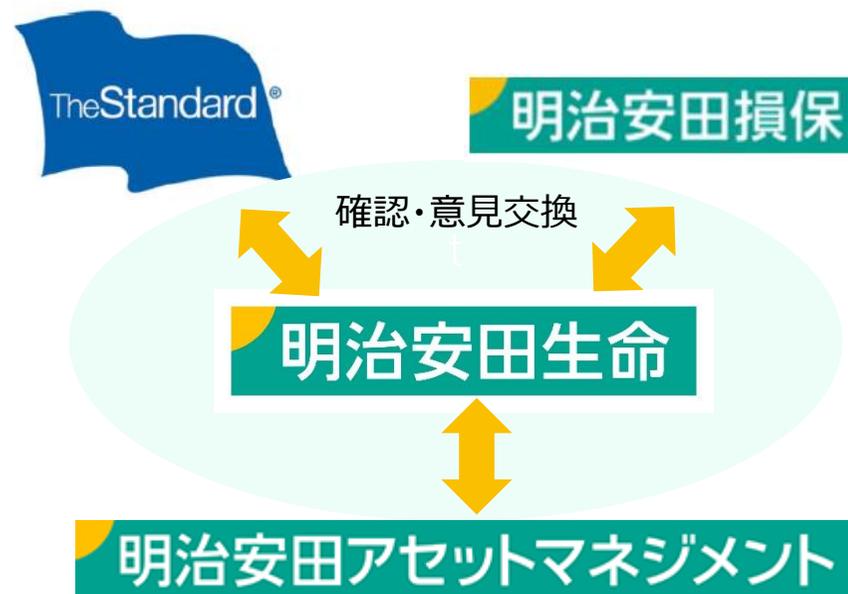
- 当社はメンバーシップ型雇用を掲げており、新卒採用者の育成を柱に据えています。配属後一定期間内に「証券・財務」「語学力」「データ分析」スキルの習得を必修として基礎知識を身に付け、その後は資産運用分野でのローテーションや、明治安田アセットマネジメントとの交流、社外派遣等を通じて知見を深め、専門人財となっていきます
- これまでの取組みに加え、AIなど新しい技術を活用するための人財教育にも力を入れてまいります

V. 資産運用ガバナンスの強化

【金融環境の変化への対応】



【グループガバナンス】



- 金融環境の見通しについて経営陣と頻繁に議論し、見通しを変更した場合には迅速に計画に反映・実行できる態勢を整え、環境変化への機動的な対応を可能としています
- グループガバナンスの一環として、明治安田グループにおいて資産運用を実施するにあたっての基本的な事項を「グループ資産運用基本方針」として定めているほか、各社と明治安田生命の資産運用分野が情報共有・意見交換を行ない、グループ各社の資産運用の状況について確認しています

VI. 明治安田アセットマネジメントの取組み

プロダクトガバナンスの高度化

【投資信託の提供態勢】



【情報提供事例】



- 明治安田アセットマネジメントは「お客様本位の業務運営方針」のもと、お客様のニーズに沿った商品の開発、品質管理の高度化に努めています。明治安田生命は投資信託の販売会社ではないため、お客様への商品提供において親会社の意向の影響を受けない態勢となっています
- お客様へは、商品の特性等に応じた適切な情報提供を心がけるとともに、わかりやすい表現・デザインの採用に加え、運用担当者の紹介や動画によるレポート解説にも取り組んでいます

VI. 明治安田アセットマネジメントの取組み

商品ラインナップの充実

【投資信託の商品ラインナップ（抜粋）】

国内株式

新NISA



新成長株ファンド
「グローイング・カバース」

新NISA



にいがた未来応援
日本株ファンド
「にいがたの架け橋」

外国株式

新NISA



明治安田米国中小型
成長株式ファンド

新NISA



東洋ベトナム
株式オープン

REIT・バランス型



明治安田 J - R E I T
戦略ファンド
「リート王」



明治安田米国リート・
インカム・プレミアム・ファンド
「スリーピース」

国内債券

新NISA



明治安田
国内債券ファンド
「ホワイトウィング」

新NISA



明治安田日本債券
オープン
「しあわせ宣言」

外国債券



明治安田NBグローバル
好利回り社債ファンド

新NISA



明治安田米国
レベニュー債オープン
「エッセンシャルボンド」



明治安田ライフプラン
ファンド20・50・70

新NISA対応ファンド数：22
(2024年1月現在)

- お客様のニーズに応えるための多種多様な商品ラインナップを揃えています
- 中長期の資産運用に強みを持つ明治安田生命のグループ会社として、今後も優れた実績配当型商品の提供により、お客様の中期の資産形成ニーズに応えていきます